



令和4年度
新設!

AI・データサイエンス副専攻

学部の専攻分野を問わず、
特定のテーマを追求できる制度
【副専攻】を導入!

AI

5G

データを駆使し、アイデアを創造する。

AI・データサイエンス 新設

→ chance

こんな人にオススメ!

- 文系学部** 観光データの分析を行うために、理工系学部のプログラミングを活用したい!
- 理工系学部** 適切なデータベースを設計するのに、経済学部の統計学を学びたい!
- 芸術系学部** デザインデータを活用するために、芸術学部のデータサイエンスを学びたい!

SDGs ←

様々な分野で活躍が期待される AI・データサイエンス人材

実社会において即戦力となるAI・データサイエンス人材は、多くの企業からのニーズが高い一方で、慢性的に不足しているといわれています。データ分析に加え、マーケティングや統計学、プログラミングなどの高度な知識が求められるからです。しかし今後、AI・データサイエンスは、専門家以外も学び、活用しなければならない時代に突入していきます。

Point 1

総合大学 だからこそできる 副専攻制度!

全学部共通のKSU基盤教育で学ぶAI関連科目を基礎に、文系・理工系・芸術系に設置している「AI」「データサイエンス」科目を副専攻として学ぶことができます。同じ「AI」科目でも、文系と理工系ではアプローチの方法が大きく違います。副専攻制度を利用し、他学部の学びを修得することで、AI・データサイエンスのスペシャリストを目指します。

AI・データサイエンス副専攻
対象科目一例

- データリテラシー
- データ分析の基礎
- データベース
- データ分析の応用
- スポーツデータサイエンス
- AI導入
- AIプログラミング演習
- AIRリテラシー
- AIプログラミング入門

Point 2

学部学科の枠を超えた 体系的な学びが可能に!

「AI・データサイエンス副専攻」は、AI・データサイエンス分野について、導入から応用レベルまで、体系的に学べるようにデザインされています。規定の単位を修得すると副専攻の修了証が与えられ、就職活動の際に履歴書の「免許・資格欄」に記載することができます。

KSU EDUCATION PROGRAM

Society 5.0

DEFINITION OF LABOR

新しい取り組み